

事業展開実証調査の進め方について（案）

1. 実施手順

事業展開実証調査は、以下のフローで実施する。事例収集は2段階で実施するものとする。

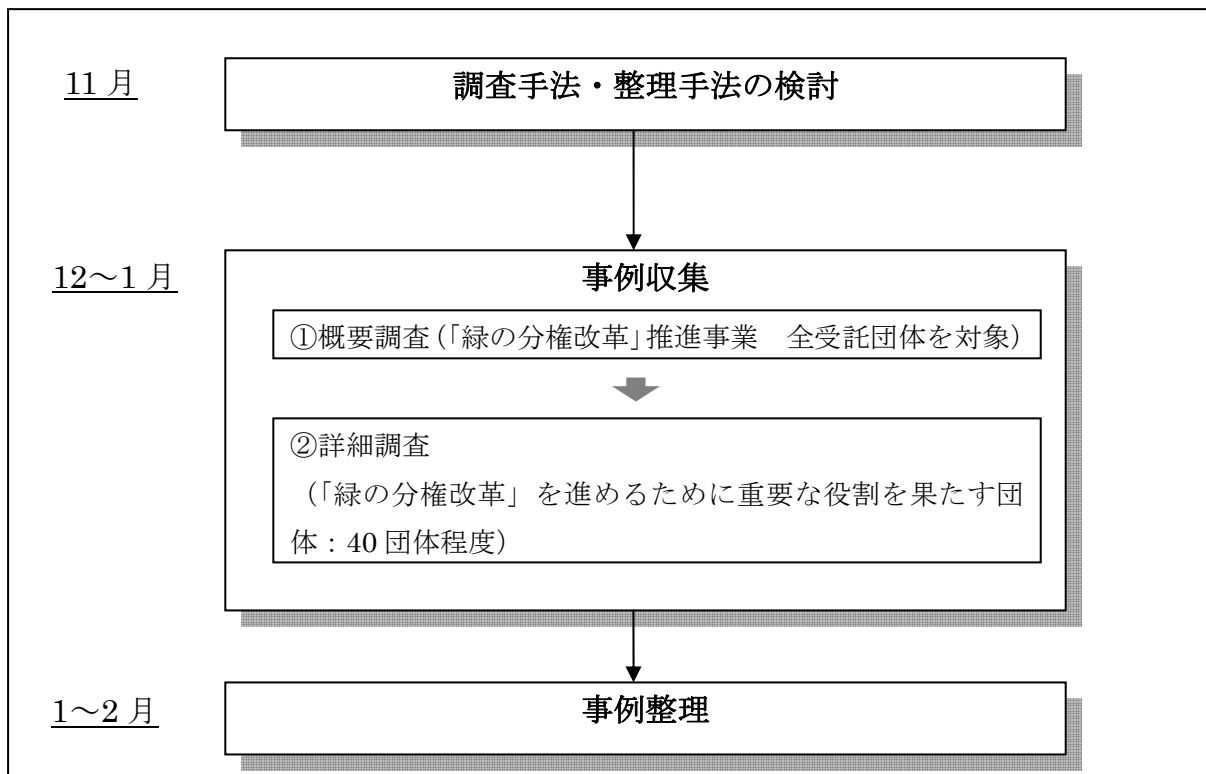


図1 事業展開実証調査の実施フロー図

表1 「ベストプラクティス」としての要素（情報収集の視点）

区分	収集の視点
①地域を巻き込んで進める 賦存量調査	<ul style="list-style-type: none"> ・市民参加型の賦存量調査 ・資源や需要の「あるもの探し」事例 ・ワークショップによる需要と供給のマッチング事例
②地域エネルギー事業を支援する基礎づくりを進める実証調査	<ul style="list-style-type: none"> ・クリーンエネルギー実証調査において地域の大学の参画した事例 ・多くの主体の連携による実証調査実施事例（市民、NPO等各種団体、民間企業、金融機関、自治体など）
③事業を担う「芽」や「核」づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティビジネスやソーシャルビジネスなど、地域が主体となって取り組む事業手法 ・上記の事業主体を行政の適切な関与により支援している事業事例
④地域の「あるもの探し」と地域事情に合わせた事業づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・クリーンエネルギー以外の地域資源（自然環境、食料、歴史文化資産、観光、教育、人材育成）との連携事業 ・コミュニティファンドなどの地域での資金調達のしくみのある事業

2. 事例収集の方法

受託団体（都道府県、市町村）の取り組み状況について、2段階で情報収集を実施する。

